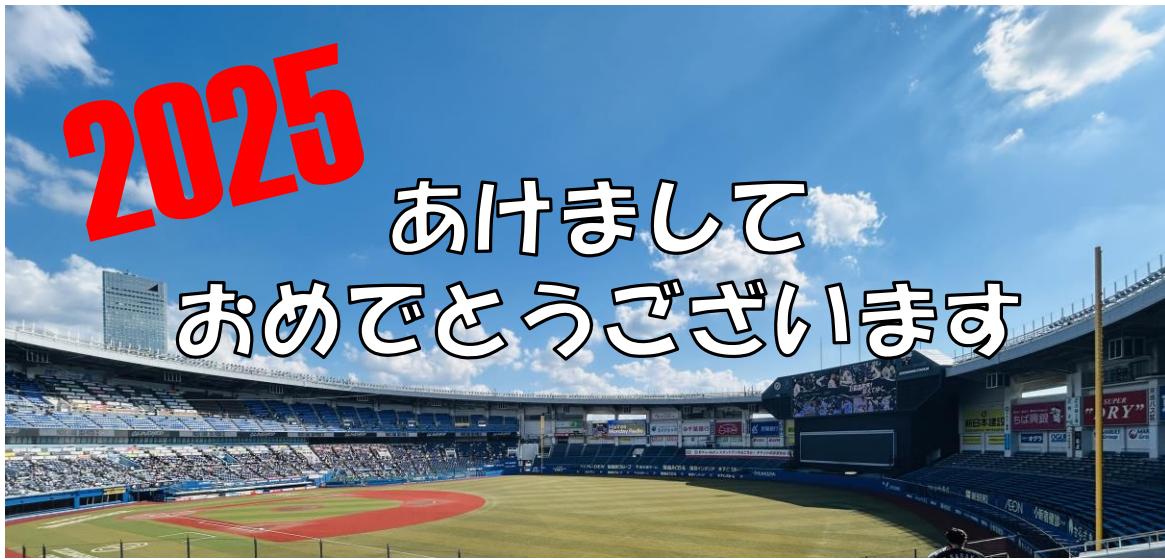


JR東労組 ちば

東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部

千葉県千葉市中央区椿森1-8-3
TEL043-251-6020 056-2937

発行人：中曾根賢次
編集人：情宣担当



2025 あけまして おめでとうございます

迎春



中曾根執行委員長「あいさつ」



新年おめでとうございます。
昨年一年間の千葉地本へのご協力に感謝するとともに、年の初めにひと言ご挨拶をさせていただきます。

2024年は、元日に能登半島沖地震が発生し、人々に大きな衝撃を与えました。その後9月の奥能登豪雨の影響もあり、現地での復興は遅れていると言わざるを得ません。改めて、災害への備えを見直すとともに、支援する体制についても考えさせられることとなりました。支援も一過性のものでなく、持続性のあるものでなければ、完全な復興を得ることはできません。今年も能登の復興に想いを馳せ、人々が安心して生活できる環境を求め、私たち自身も、いつ起きてもおかしくない災害への備えを待ち続けるべきです。

千葉労働局管内では、2024年1月から11月末までの間、29件の死亡災害が発生（コロナ関連を除く）しています。10月末までの時点で昨年の同期と比べて、70%も増加しており、千葉労働局では、各業界団体、連合千葉に対しても労働者の安全を守るべく、「緊急要請」を出しました。

よく、「事故やトラブルは『初めて、変更、久しぶり』3Hの時に起きる」と言われます。JR東日本の各職場では、「柔軟な働き方」という名のもとに、業務が増加しています。多能化・複務化はこの3Hを招きやすくしており、つまりは事故・事象のリスクが高まっているのです。

私たちは、自らの仕事の仕組みを今一度点検し、労働災害を発生させない職場の構築に努めていきます。

JR東日本千葉支社は2024年11月、千葉県および君津市に対し、久留里線（久留里〜上総亀山間）の新たな交通体系に関する検討結果について、提示しました。その中では「バス等を中心とした新たな交通体系へのモードチェンジを図ることが必要」としています。

しかし、現在、全国のバス事業者において、ドライバー確保の難しさが叫ばれており、バス職場の仲間の現状を知っている私たちにあっては、この検討結果が課題解決に結びつくとは思えません。

久留里線の動向は全国のローカル線のあり方、方向性に影響することも考えられ、さまざまな方面から注目されています。

ローカル線の廃止は労働者にとっては職場を失うこと、つまり雇用に関わるということと、地域の皆さまにとっては大切な移動手段を失うということを自覚しなければなりません。労働者と、市民の両方の視点を持たなければ、本当の課題解決にはならないということです。

難しい課題ですが、市民との連帯も視野に入れた取り組みを行なっていくようではありませんか。

2024年のノーベル平和賞は日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が受賞しましたが、今年は原爆投下から80年を迎えるにあたり、唯一の戦争被爆国である日本の姿勢を世界が注目しています。そのような中で、地球上では核保有国が関係する紛争や、緊張状態が絶えることがなく、核戦争などによる人類滅亡の危機を表す「世界終末時計」は2024年現在残り90秒を示したままです。悲惨な戦争を起させないための行動を、私たち一人ひとりが考えるべき時に来ているのではないのでしょうか。具体的には平和運動に取り組んだり、国政、地方議会選挙の際に、反戦・平和を標榜する候補者を支援するなどの方法などがあります。

被団協と共に、ノーベル平和賞授賞式に出席した、日本の高校生平和大使は「ビヨクだけどもリヨクじゃない」と訴えています。私たち一人ひとりの力は小さなものかもしれませんが、仲間が結集すれば、大きな力を得ることもできます。

2025年も安心して暮らせる、平和な社会となることを願い、反戦・平和の取り組みを推し進めていきましょう。

さまざまな課題が待ち受けていることは明らかですが、みなさんとともに、さらなる組織強化・拡大をめざして奮闘することを記して新年のご挨拶とします。本年もどうぞ、よろしくお願いたします。

美世志会「あいさつ」



えん罪や不当処分に対する怒りを待ち闘い続けます！

美世志会を代表し、仲間の皆さんへ新年のあいさつをいたします。

2024年は死刑判決を受けた袴田巖さんに対する再審で無罪判決が確定しました。また、検察の起訴取り消しにより「えん罪」であることが明らかになった大川原化工機事件では、警察や検察の捜査の違法性が明らかとなりました。

「えん罪」の共通点は、警察や検察が作ったストーリーに合わせるための自白の強要や証拠の捏造です。私たち美世志会も同じ経験をしました。そして、いくら真実を訴えても裁判所が聞き入れることはなく、JR東日本会社からも懲戒解雇されました。

現在相次いでいるJR東労組の仲間に対するJR東日本会社からの不当処分も、「えん罪」の構図と全く同じです。仲間の訴えを聞くたびに、真実を聞き入れられない悔しき、圧倒的な権力を持つ会社からの弾圧への怒り、そして仲間が立ち上がり、闘い続ける思いも身に染みて感じます。

不当処分と闘う仲間にも、私たち美世志会にも、真実を見極め、共に闘うJR総連・JR東労組の仲間と組織が存在します。私たち美世志会7名も、それぞれの任務を通じて、JR総連・JR東労組の組織強化・拡大を実現するために闘い続けます。

美世志会代表 山田 知

第45回定期地本委員会

日時：2月19日（水）
場所：千葉市市民会館

最新情報は千葉地本
ホームページで発信中



迎春

鉄道ファミリーは組合と共に歩みます
皆様をしっかりとサポートします

- ▶がん保険・医療保険・介護保険
- ▶自動車保険・サークル保険
- ▶JR積立年金・組合旗・組合パッチ
- ▶すみっこ商店



今年もよろしくお願いたします
JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 068-4114-5 NTT 03-3490-3882